

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80

天保四年 癸巳七月
吳服帳 太物帳 改

成
清
寺
中

紙附上下書

同 紙附上下書 紙附上下書
紙附上下書 紙附上下書
紙附上下書 紙附上下書

同 紙附上下書 紙附上下書
紙附上下書 紙附上下書
紙附上下書 紙附上下書

同 紙附上下書 紙附上下書
紙附上下書 紙附上下書
紙附上下書 紙附上下書

同 紙附上下書 紙附上下書
紙附上下書 紙附上下書
紙附上下書 紙附上下書

同 紙附上下書 紙附上下書
紙附上下書 紙附上下書
紙附上下書 紙附上下書

同 紙附上下書 紙附上下書
紙附上下書 紙附上下書
紙附上下書 紙附上下書

同 紙附上下書 紙附上下書
紙附上下書 紙附上下書
紙附上下書 紙附上下書

百廿六寸六分一
唐尺六寸
廿六寸

百廿六寸五分
唐尺六寸
廿六寸五分

百廿六寸四分
唐尺六寸
廿六寸四分

百廿六寸三分
唐尺六寸
廿六寸三分

百廿六寸二分
唐尺六寸
廿六寸二分

百廿六寸一分
唐尺六寸
廿六寸一分

百廿六寸
唐尺六寸
廿六寸

百廿六寸
唐尺六寸
廿六寸

百廿六寸
唐尺六寸
廿六寸

百 八 乃 九 ね ぎ ぎ へ
古 偏 乃 ぎ ぎ へ
九 寸 ね
は ね ぎ ぎ へ

百 廿 中 乃 ね ぎ ぎ へ
因 乃 ぎ ぎ へ
古 偏 乃 ぎ ぎ へ
乃 ね ぎ ぎ へ

百 廿 乃 乃 ね ぎ ぎ へ
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

百 廿 乃 乃 ね ぎ ぎ へ
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

百 廿 乃 乃 ね ぎ ぎ へ
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

百 廿 乃 乃 ね ぎ ぎ へ
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

百 九 乃 乃 ね ぎ ぎ へ
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

百五十五

中幅細中
同くみち中細中
油光紙中細中
白紙中細中

百五十六

中幅細中
油光紙中細中
白紙中細中

百五十七

中幅細中
油光紙中細中
白紙中細中

百五十八

中幅細中
油光紙中細中
白紙中細中

百五十九

中幅細中
油光紙中細中
白紙中細中

百六十

中幅細中
油光紙中細中
白紙中細中

百六十一

中幅細中
油光紙中細中
白紙中細中

百六十二

中幅細中
油光紙中細中
白紙中細中

百六十三

中幅細中
油光紙中細中
白紙中細中

回 上言在在

星子石

回 又口口口

星子石

同姓石

回 上言在在

星子石

回 上言在在

星子石

回 上言在在

星子石

回 上言在在

星子石

回 上言在在

星子石

回 上言在在

星子石

回 上言在在

星子石

回 上言在在

星子石

百五十五

四
何方廿日
未成時
付中敷三

丁
男、女、
男、女、

一
 世うたふ
 輪子あや
 子あや

三

食物口

百五十六
小松義門
加藤虎子

百六十六
中級
山崎

一 百 五 十 五
五 十 五 十 五
五 十 五 十 五

百 せうふふく
のちふふ

百 せうふふく
のちふふ

百 せうふふく
のちふふ

百 せうふふく
のちふふ

百 せうふふく
のちふふ

百 せうふふく
のちふふ

百 せうふふく
のちふふ

百 せうふふく
のちふふ

百 せうふふく
のちふふ

百 せうふふく
のちふふ

李商隐集卷之八 雜記
李商隐集卷之八 雜記

 乃在冥下
 中
 古
 乃在冥下

百六拾五文 紙子於
五十六拾五文

七
下

百廿六
サ
エ
エ

百
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

萬曆三十四年
五月


 此の巻は、
 天保十三年
 八月廿二日
 江戸
 大塚

[illegible]

七
七
七

修らるゝ
中は
上田
修らるゝ

回 力に
修らるゝ

回 力に
修らるゝ

回 力に
修らるゝ

回 力に
修らるゝ

回 力に
修らるゝ

回 力に
修らるゝ

回 力に
修らるゝ

回 力に
修らるゝ

回 力に
修らるゝ

手帳口

日本銀行
明治三十四年
四月
申
二
日
付
金
目
録

日本銀行
明治三十四年
四月
申
二
日
付
金
目
録

日本銀行
明治三十四年
四月
申
二
日
付
金
目
録

日本銀行
明治三十四年
四月
申
二
日
付
金
目
録

日本銀行
明治三十四年
四月
申
二
日
付
金
目
録

日本銀行
明治三十四年
四月
申
二
日
付
金
目
録

日本銀行
明治三十四年
四月
申
二
日
付
金
目
録

日本銀行
明治三十四年
四月
申
二
日
付
金
目
録

日本銀行
明治三十四年
四月
申
二
日
付
金
目
録

百 八のむすむす
はるはる

百 八のむすむす
はるはる

百 八のむすむす
はるはる

百 八のむすむす
はるはる

百 八のむすむす
はるはる

百 八のむすむす
はるはる

百 八のむすむす
はるはる

百 八のむすむす
はるはる

百 八のむすむす
はるはる

回 口方格文
候中修
百方格文

回 口方格文
候中修
百方格文

回 口方格文
候中修
百方格文

回 口方格文
候中修
百方格文

口方格文

其本相

百 以中下位人多 為力
中位下位人多

百 入位金下 臣而中氣
臣而中氣

百 中位下位人多 中位下位人多
中位下位人多

百 中位下位人多 中位下位人多
中位下位人多

百 中位下位人多 中位下位人多
中位下位人多

百 中位下位人多 中位下位人多
中位下位人多

百 中位下位人多 中位下位人多
中位下位人多

[illegible]

百
口
長
子
銘
北
反


 入校乃下
 相馬
 三友

百
乃不我知
其老憐
八

六松乃心 恒久

七
士貴乃六根之下

本報

一 新加坡五十年

正味八珍。

長久寶字石印在寺坊坊金

正味八寶

長久寶印石印在寺坊地金

吳服帳
牙物帳

武正六枝貴字九枝初金
不才亦金

己
七月
辰





